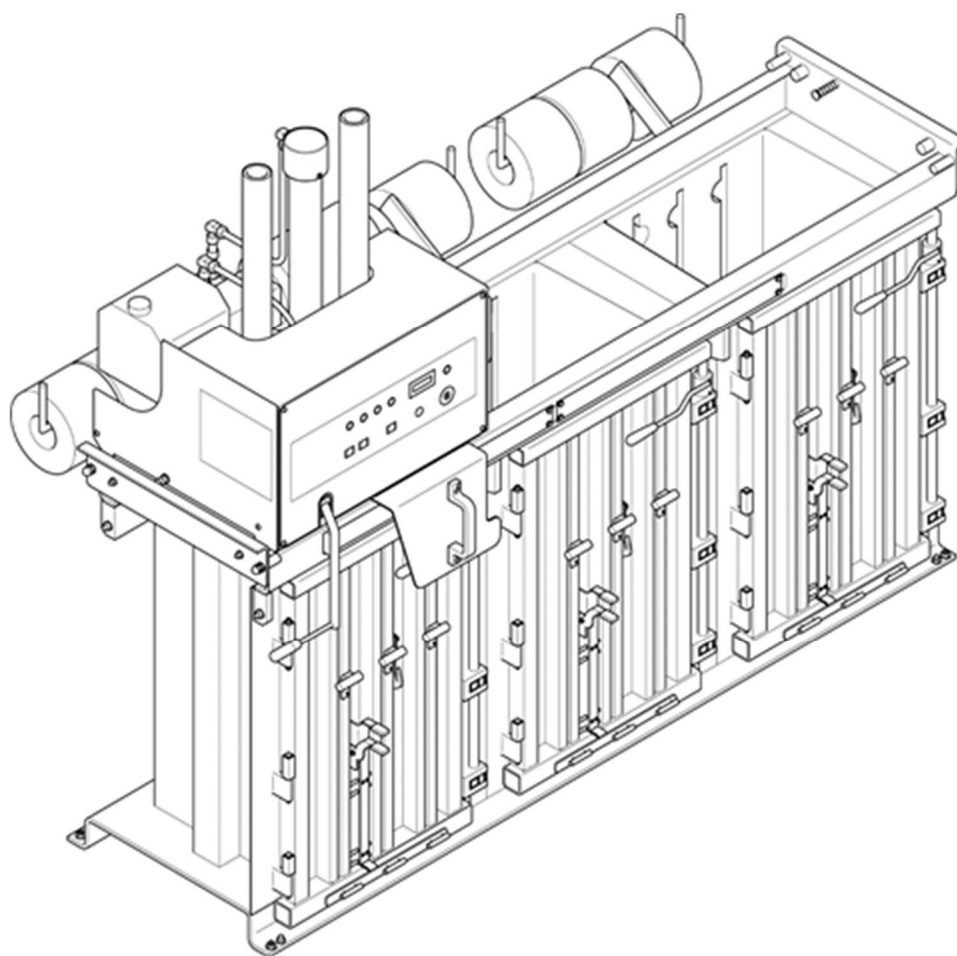


取扱説明書

～リサイクル資源を圧縮・減容～

圧縮減容機

KCPR40M/KCPR40M3



2025年11月

目次

1	使用目的	2
2	安全上の注意	2
3	コーションシールの貼り付け位置	4
4	各部の名称	5
5	各装置の機能および使い方	6
6	安全装置の説明	10
7	始業点検	11
8	使用方法	12
9	定期点検	16
10	各回路図	18
11	故障かなと思った時に	20
12	仕様	21
13	廃棄について	24
14	商品保証規定	24
15	アフターサービスについて	25

1 使用目的

本圧縮機は、ダンボール、フィルム※、紙、ビニール、空ペットボトル等の減容およびリサイクルを行うための圧縮機です。

※包装緩衝材等の高反発材を除く

2 安全上の注意

2-1 危険・警告・注意事項


本機をご使用いただく上で、人身事故などを防止するための重要な事柄が取扱説明書には記載されていますので、必ずよく読み理解してからご使用ください。


2-2 一般的な安全遵守事項


1. 取扱説明書をよく読み、よく理解した上でご使用ください。
2. 本機の操作は、使用方法を十分理解した人に限定してください。
3. 始業点検および、定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
4. 運転時に異音・異臭発生等、普段と異なる状態が発生した時にはただちに使用を中止して、お買い上げいただいた販売会社に連絡して点検を受けてください。
5. コーショナラベルを取り外したり改変したりしないでください。
6. 本機を改造しないでください。
7. 本来の使用目的以外には使用しないでください。

用語および記号の説明

この取扱説明書では「危険」、「警告」、「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから圧縮機をご使用ください。

 **危険** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡および重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡および重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が損害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合。

2-3 使用上の注意

絵表示の背後に描かれている図記号には次のような意味があります。



してはいけない
特定の行為









しなくてはならない
特定の行為



取り扱いの誤りによって発生
する可能性のある警告注意

 危険			
	絶対にプレス版の下に入らないでください。 ※死亡または重傷の危険性があります。		操作中は動作部や圧縮室に絶対に手を入れないでください。 ※死亡または重傷の危険性があります。

 警告			
	安全装置および本体の改造は絶対にしないでください。 ※安全性が損なわれて重大な被害が発生する可能性があります。		メンテナンスの際は必ず電源プラグを抜いてください。 ※死亡または重傷の危険性があります。
	感電注意 制御盤を開けた時には感電に注意してください。 ※死亡または重傷の危険性があります。		取扱説明書をよく読み、理解してから使用してください。 ※死亡または重傷の危険性があります。

 注意			
<ul style="list-style-type: none"> ● 本機はリサイクル資源などを減容・圧縮するための装置です。 本来の目的以外の使用は絶対にしないでください。 ● 圧縮物以外の物(爆発物、危険物等)は、プレスボックスに入れしないでください。 重大事故および故障の原因になります。 ● 排出扉を閉めるときは、ロックハンドルを確実にロックしてください。 ロックされていないと排出扉が開き圧縮対象物が飛び散る恐れがあります。 ● プレス部を移動させるときは、手をはさまないように位置決めが完了するまで必ず両手で移動ハンドルを持って移動させてください。 ● 緊急の場合には、ただちに非常停止ボタンを押してください。 ● 万一、途中で圧縮対象物を取り除く場合は、必ず非常停止ボタンを押してください。 ● 本機を移動させるときは、必ず設置要領書に従ってください。 ● 本機の制御盤およびモーターには、水や雨がかからないようにしてください。 故障の原因になります。 			

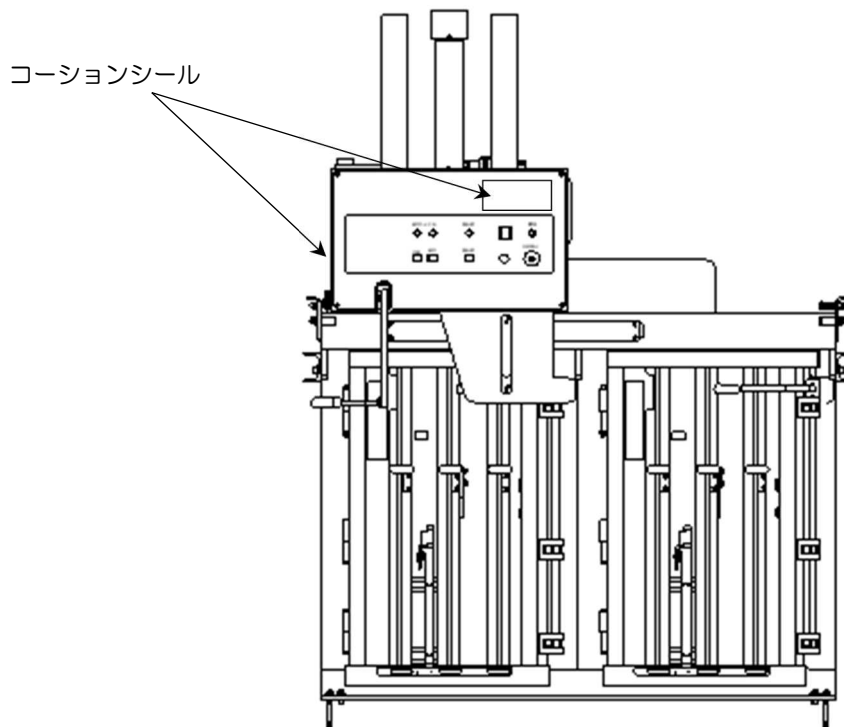
3 コーションシールの貼り付け位置

圧縮機を操作するときは、取扱説明書の「安全上の注意」を守って操作してください。

なお、取扱説明書を紛失した場合やコーションシールがはがれたり汚損した場合は、本機をお買い求めになった販売会社にお問い合わせください。

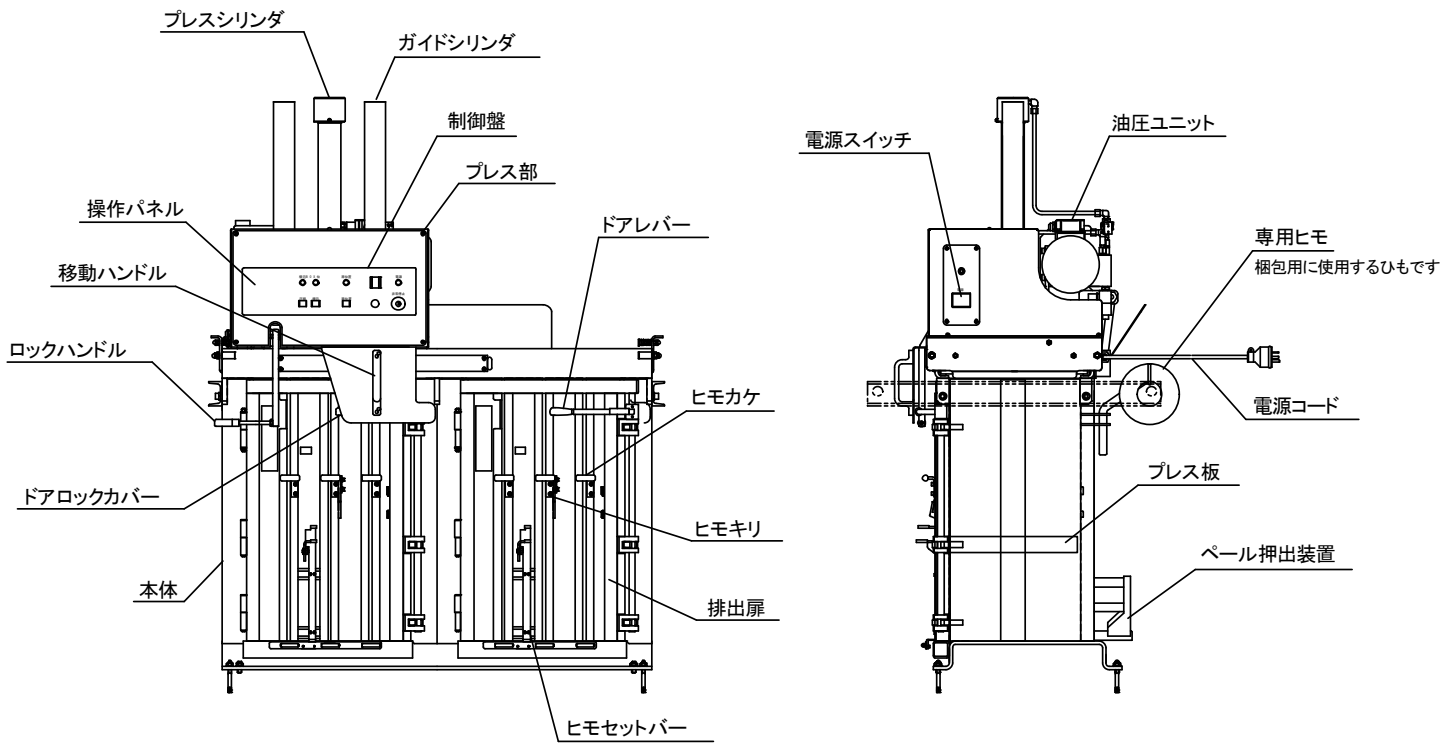
下記の場所にコーションシールが貼ってありますので、内容をよく読んでからご使用ください。

※イラストは KCPR40M の場合です。形状は型式により異なります。



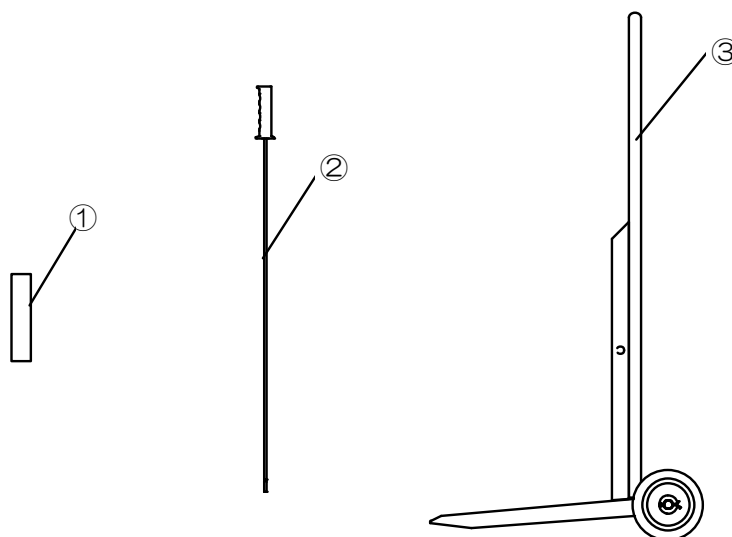
4 各部の名称

※イラストは KCPR40M の場合です。形状は型式により異なります。



<付属品>

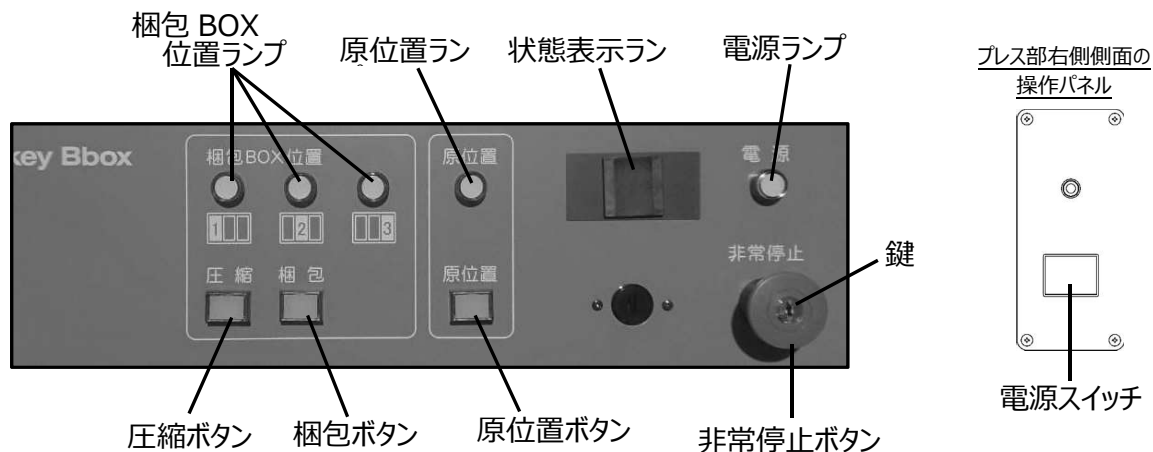
①	BOX 名記入マグネットシート	2枚 (KCPR40M3 は3枚)
②	ヒモガイドバー	1ヶ
③	専用カート	1ヶ
④	鍵 (非常停止ボタン解除用)	2ヶ



5 各装置の機能および使い方

5-1 操作パネル

※下図は KCPR40M3 の場合です。形状は型式により異なります。



■表示ランプ

電源ランプ	電源スイッチがONになって電気が供給されている時に点灯します。
原位置ランプ	プレス板が最上昇位置にある時に点灯します。
梱包BOX位置ランプ	各BOXで梱包する量になった時に点灯します。 【KCPR40M】左BOX：1、右BOX：2 【KCPR40M3】左BOX：1、中BOX：2、右BOX：3 点灯したら梱包してください。

■操作ボタン

電源スイッチ	電源のON、OFFを切り替えるスイッチです。 (電源ランプが緑：ON、電源ランプが白：OFF) 20Aのサーキットプロテクタとしても作動します。
非常停止ボタン	このボタンを押すと、圧縮機が非常停止します。 非常停止状態にすることで、鍵を使わなければ運転できないようにすることができます。非常停止を解除するときは付属の鍵を鍵穴に挿し右に回してください。
圧縮ボタン	このボタンを押すと、プレス板が下降して圧縮物を圧縮し、最下降位置で2秒間停止してから最上昇位置まで上昇するサイクル運転をします。圧縮物が一杯になると梱包BOX位置ランプが点灯した後プレス板が上昇して原位置で停止します。
梱包ボタン	ボタンを押すと、プレス板が梱包に適した位置まで下降して停止します。停止したら梱包してください。
原位置ボタン	プレス板を原位置に戻すことができます。圧縮の途中で非常停止させた時やトラブルにより途中で停止した時は、このボタンを押して原位置に戻してください。

■状態表示ランプ

表示器には、操作方法、動作内容がリアルタイムに番号にて表示されます。

また万一、制御関係の機器に故障が発生したときは、エラーに対応した数字が表示されます。

(エラー内容は P エラー! ブックマークが定義されていません。へ)

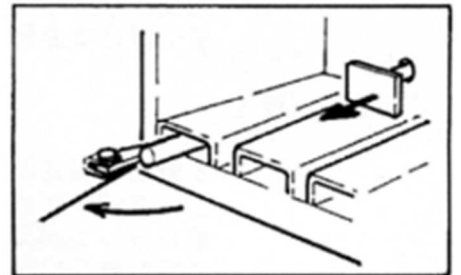
番号	動作メッセージ	表示内容
0	圧縮中	圧縮ボタンを押してワークを圧縮している時に表示されます。
1	上昇中	プレス板が上昇している時に表示します。
2	梱包圧縮中	梱包ボタンを押してワークを圧縮している時に表示されます。
3	原位置復帰中	原位置 SW を押してプレス板が原位置復帰中に表示されます。
4	右 BOX	プレス部が右 BOX に位置し、最上昇位置停止、ロックハンドルがロック状態の時に表示されます。
5	中 BOX (KCPR40M3)	プレス部が中 BOX に位置し、最上昇位置停止、ロックハンドルがロック状態の時に表示されます。
6	左 BOX	プレス部が左 BOX に位置し、最上昇位置停止、ロックハンドルがロック状態の時に表示されます。
7	原位置 SW を押してください	プレス板が途中停止した状態の時に表示されます。
8	ロックを行ってください	ロックハンドルのロックが外れた状態の時に表示されます。
9	ヒモ結束をしてください	梱包圧縮してプレス板が梱包停止した状態の時に表示されます。
A	梱包状態です、準備を行ってください	梱包可能になり、梱包 BOX 位置ランプが点灯した時に表示されます。
b s E	エラー1~3 BOX 位置検出エラー	制御関係の機器に故障が発生した場合に表示します。 (エラー番号で故障箇所が異なります) この数字が表示されると、一切の動作ができなくなります。 (エラー表示内容は P エラー! ブックマークが定義されていません。へ)

5-2 排出扉

開く	ドアレバーを引くと排出扉が開き、少し前方へベールが押し出されます。
閉じる	排出扉を閉め、ドアレバーを確実に閉めてください。

5-3 ワークの払い出し

圧縮・ヒモ掛け後のベールを BOX 内から取り出すとき、排出扉を開くとベールが取り出しやすいように少し手前へ押し出されます。

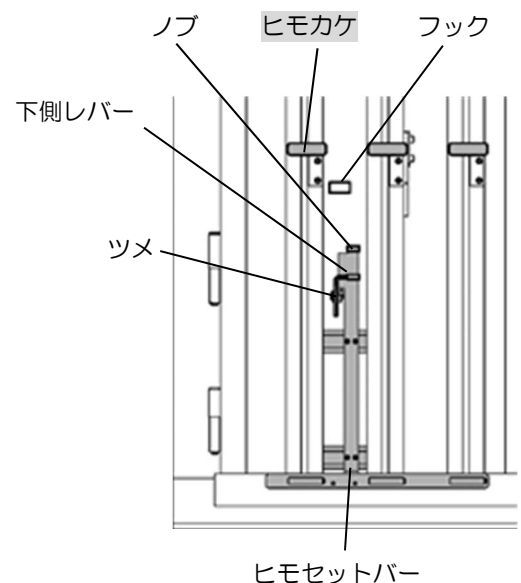


5-4 梱包用装置

■ヒモセットバー

梱包ヒモを固定します。ヒモセット時に上下に移動させて、梱包用ヒモを掛けやすくすることができます。

上げる	ノブを持ち、上に上げれば排出扉のフックにツメが掛かりその位置で止まります。
下げる	下側レバーを引き上げてツメを外し、ヒモセットバーを下まで下げてください。

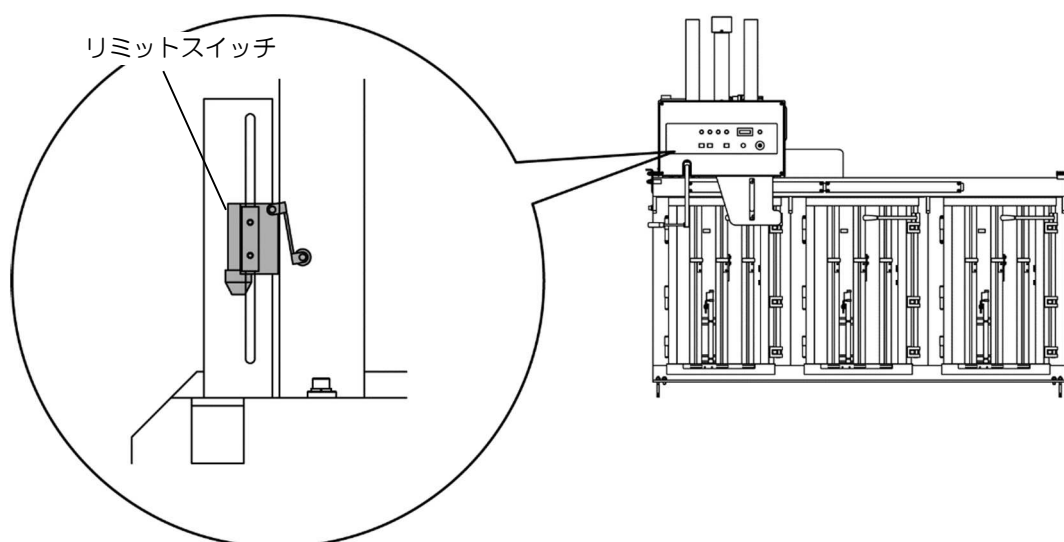


■ヒモカケ

結束時に引き出した梱包用ヒモを掛けるフックです。

5-5 プレス板の高さ調整

圧縮時のプレス板の最下降位置の高さを調整できます。標準はプレスボックス下面から245mmの高さに調整されています。245～385mmの範囲で調整できます。



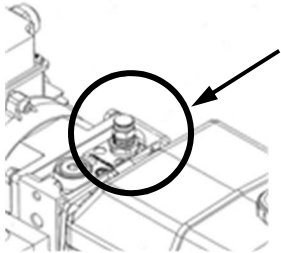
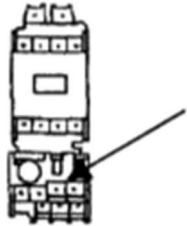
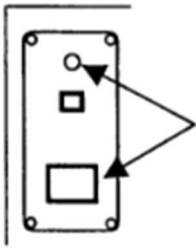
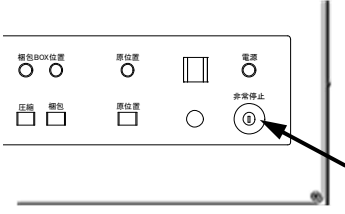
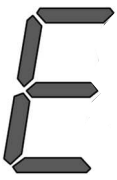
⚠ 警告



メンテナンスの際は必ず電源プラグを抜いてください。
※死亡または重傷の危険があります。

1. 前面の操作パネルを外してください。
2. 各スイッチのコネクタ類を外してください。
3. 操作パネルが付いていた前面カバーを外してください。
4. リミットスイッチで高さを調整してください。
リミットスイッチはプレス板の最下降位置の高さを位置決めすることができます。
5. リミットスイッチを固定するときは、ネジをしっかりと締めてください。
(ネジをしっかりと締めずに運転すると、リミットスイッチの位置がずれて調整したプレス板の最下降位置の高さがずれることがあります)
6. 前面カバー、操作パネルは安全のため必ず元通りに取り付けてください。

6 安全装置の説明

部 品	名 称	機能説明
	リリーフバルブ	<p>プレス板が最下降位置に達したときや、何らかのトラブルで油圧回路内の圧力が異常に上昇したときに、圧縮機の能力（約 4t）を超えないように油圧を逃がし、圧縮機の破損を防ぎます。</p>
	サーマルリレー	<p>過負荷電流を検知し、電気回路を遮断してモーターを保護します。マグネットスイッチに付属しています。</p>
	サーキットプロテクタ	<p>配線の短絡事故や装置の故障による事故を未然に防ぎます。プレス部右側面の操作パネルに 20A（電源スイッチ）と 3A の 2 種類があります。</p>
	非常停止ボタン	<p>万一、作動不良や異常事態などが発生した場合に押してください。全ての動作が停止します。必ず異常を取り除いた後に解除してください。</p>
	7セグ b,C,d,E	<p>万一、作動不良や異常事態などが発生した場合、エラー表示と同時に全ての動作が自動で停止します。安全のため、必ず非常停止ボタンを押し異常を取り除いた後に解除してください。</p>

7 始業点検

⚠ 注意

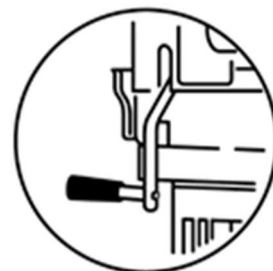
- 毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。
なお、点検はプレスボックスの中が空の状態で行ってください。
- 異常と思われる箇所が発見された場合は直ちに販売店に連絡し、異常箇所の修復を完全に行うまで圧縮機の使用を禁止してください。そのままご使用になると圧縮機の破損および重大な事故につながる危険性があります。

点検箇所	内容	点検方法
本体およびプレス部	<ul style="list-style-type: none"> • 外観上に破損、歪みはないか • ネジ類の弛みや外れはないか • プレスボックス内に異物が落ちてないか • 破損や変形はないか • プレスボックス内が空の状態でも運転させてスムーズに動くか 	目視
	<ul style="list-style-type: none"> • 異音はないか 	聴取
油圧系統	<ul style="list-style-type: none"> • 油圧ユニットから油漏れはないか 	目視
	<ul style="list-style-type: none"> • プレスボックス内が空の状態でも運転させて異音はないか 	聴取
	<ul style="list-style-type: none"> • 各配管や継手などから油漏れはないか 	目視
操作ボタンおよび操作ランプ	<ul style="list-style-type: none"> • 電源系統に異常はないか。非常停止ボタン、圧縮ボタンなどを操作して、指示通りの動作をするか 	動作
	<ul style="list-style-type: none"> • 各ランプは正常に点灯するか 	目視

8 使用方法

8-1 使用前準備

1. ロックハンドルがしっかりロック（ハンドルが奥まで差し込まれた状態）されていることを確認してください。



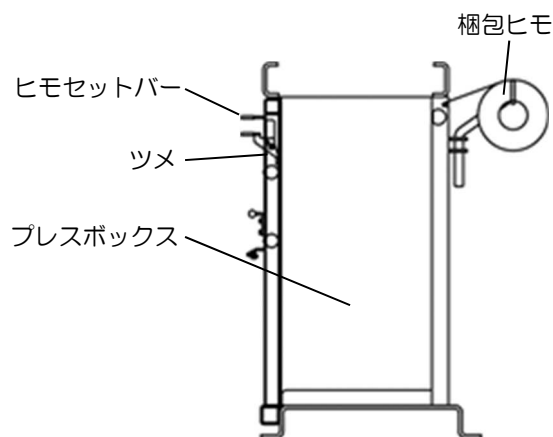
2. プレス部右側面の操作パネルにある電源スイッチを入れてください。電源が入ると電源ランプが点灯します。
3. 非常停止になっているときは、非常停止を解除してください。操作パネルの非常停止ボタンに鍵穴があります。キーを挿入して右に回してください。
4. 原位置ランプが点灯していることを確認してください。点灯していなければ、以下の操作を行ってください。

●ロックハンドルがしっかりロックされているか確認してください。

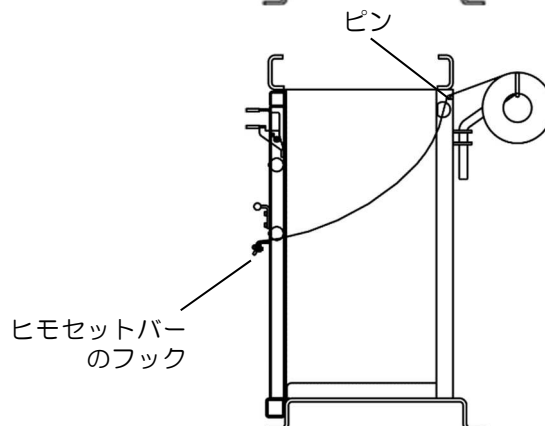
●操作パネルの原位置 SW を押してください。
プレス板が最上昇位置まで上昇すると原位置ランプが点灯します。

8-2 梱包準備

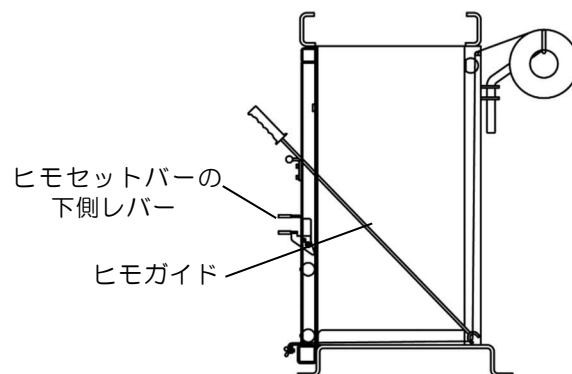
1. プレス部のないプレスボックスに梱包ヒモをセットします。
2. ヒモセットバーを上へ上げれば扉にツメが掛かり、その位置で止まります。



3. 梱包ヒモをスリットに取り付けてあるピンの上から内部に入れます。
4. 内部に入れた梱包ヒモを排出扉のスリットから前面に出して、ヒモセットバーのフックに掛けてください。

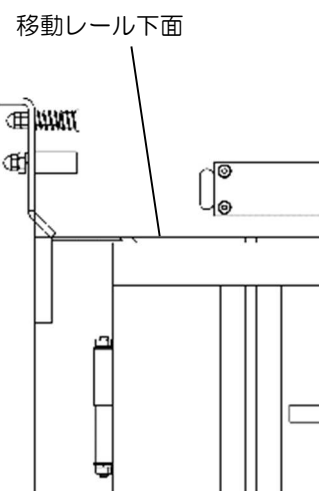


5. ヒモセットバーの下側レバーを引き上げてツメを外し、ヒモセットバーを下まで下げてください。
6. ヒモガイドバーを利用して、梱包ひもをプレスボックス内の溝にはわせてください。



8-3 圧縮対象物の投入

1. 梱包ひもをセットしたプレスボックスに圧縮対象物を投入してください。
2. 圧縮対象物の投入最上昇位置はプレス部の移動レール下面以下です。圧縮対象物はなるべく平らにして投入してください。



8-4 プレス部の移動

⚠ 注意

プレス部を移動させるときは、移動させる側に手や物が無いことをよく確認してください。重大事故および故障の原因となります。

1. 左手でロックハンドルを握りロックを外してください。同時に右手で移動ハンドルを握り、プレス部を、圧縮対象物を投入したプレスボックスまで移動させてください。
2. 移動が終わったらロックハンドルが完全に下がっていること、ロックピンが完全に固定穴に入っていること、また原位置ランプが点灯していることを確認してください。

8-5 圧縮

⚠ 注意

- 圧縮物以外の物（爆発物、危険物）は絶対に投入しないでください。
重大事故および故障の原因となります。
- 緊急の場合は非常停止ボタンを押してください。

1. 操作パネルの圧縮ボタンを押してください。ボタンを押すと圧縮が始まります。
2. 圧縮後プレス板が原位置に戻り原位置ランプが点灯します。

8-6 プレス部を隣のプレスボックスに移動

⚠ 注意

プレス部を移動させるときは、移動させる側に手や物が無いことをよく確認してください。重大事故および故障の原因となります。

1. 左手でロックハンドルを握り、ロックを外してください。
同時に右手で移動ハンドルを握り、プレス部を、圧縮対象物を投入したプレスボックスまで移動させてください。
2. 移動したらロックハンドルが下に完全に下がっていること、ロックピンが完全に固定穴に入っていること、また原位置ランプが点灯していることを確認してください。

「8-3 圧縮対象物の投入」から「8-6 プレス部を隣のプレスボックスに移動」までを梱包ボックス位置ランプが点灯するまで繰り返してください。

※圧縮対象物がいっぱいになると、そのプレスボックス位置の梱包ボックス位置ランプが点灯します。

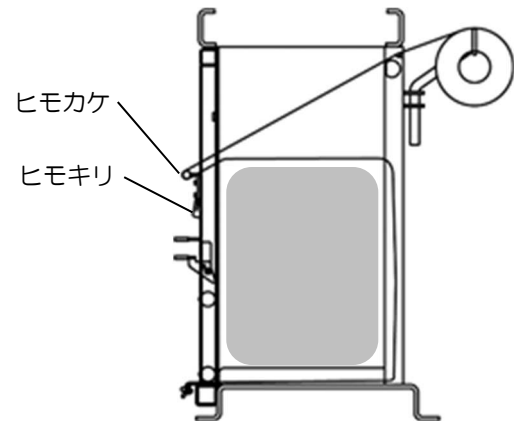
続いてプレス板が最上昇位置まで上昇して停止し、梱包準備ブザーが鳴ります。

そうしたらプレス部を隣のプレスボックスに移動してください。

その後、梱包ボックス位置ランプが点灯したプレスボックスで「8-7 梱包」に示す梱包作業を行ってください。

8-7 梱包

1. プレスボックス裏側の梱包ヒモを排出扉のスリットから前を出してヒモカケに掛けてください。
2. プレス板を再度上部へ移動させます。
3. 原位置ランプが点灯していることを確認して梱包ボタンを押してください。原位置ランプが消え、プレス板が梱包できる高さまで下降し梱包できる状態になります。
4. ヒモカケに掛けた梱包ヒモを外し、ヒモキリで適当な長さで切断します。ヒモセットバーのフックから梱包ヒモを外し、切断した梱包ヒモをできるだけしっかり結んでください。
5. 梱包ボタンを押してください。プレス板が原位置に戻り原位置ランプが点灯します。
6. プレス部を他のプレスボックスに移動させます。
左手でロックハンドルを握り、ロックを外します。
同時に右手で移動ハンドルを握り、プレス部を圧縮対象物が投入されたプレスボックスまで移動させてください。
移動が終わったら、ロックハンドルが下に完全に下がり、ロックピンが完全に固定穴に入り、原位置ランプが点灯していることを確認してください。



8-8 取り出し

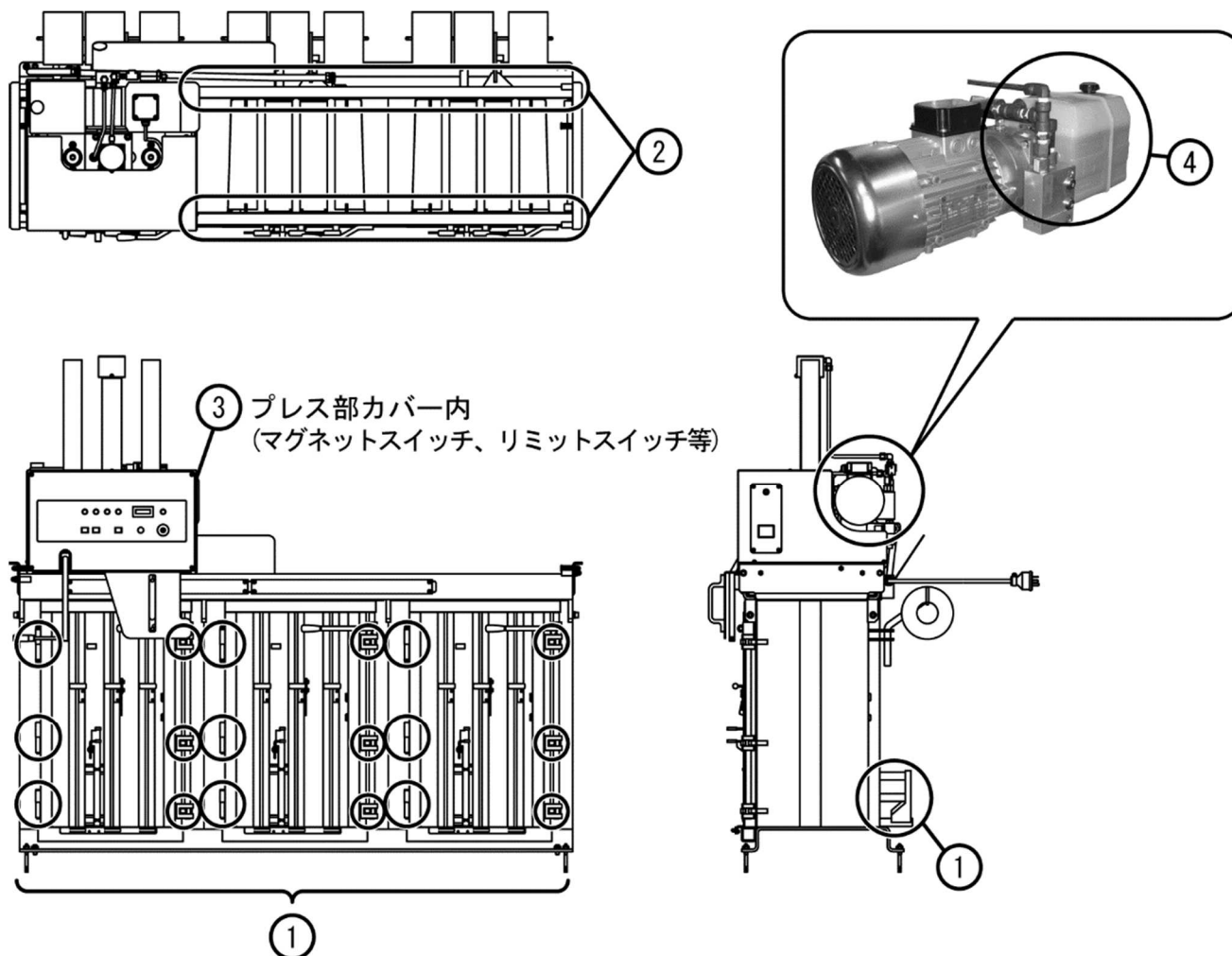
1. ドアレバーを引いて排出扉を開けてください。
排出扉が開くとベールが少し前方へ押し出されます。
2. 専用カートの先端をプレスボックスの底の溝に入れて、専用カートの前面がベールに当たるまで押し込みます。
専用カートの下部を足で押さえ、ハンドルを手前に倒せばベールがプレスボックスから取り出せますので、そのままカートを使いベールを所定の置き場へ運搬してください。
3. 排出扉を閉め、ドアレバーを確実に閉めてください。

「8-1 使用前準備」から「8-8 取り出し」で一連の作業は終わりです。
同時に複数のBOXを使えば効率良く作業を行うことができます。

9 定期点検

安全にご使用していただくために必ず定期点検を実施してください。

点検は販売店に依頼されるか（有償）、お客様で点検される場合は一度販売店から指導をお受けになることをお勧めします。



点検期間	点検箇所	点検項目	点検要領
1 ヶ月毎	給油箇所	軸受部 (①)、ローラ駆動部 (②)	注油
	リミットスイッチ (③)	リミット調整部のネジの弛み	増締め
6 ヶ月毎	油圧ユニット (④) 油圧回路 (④)	継手、配管 各種バルブ類	ひび、油漏れはないか
	制御盤 (③)	各電気機器 (マグネットスイッチ、リミットスイッチ等)	正常に働いているか、 接点に汚れ破損の有無を確認
12 ヶ月毎	オイルタンク (④)	オイル	交換
	オイルタンク内 (④)	サクションフィルター	目詰まりはないか

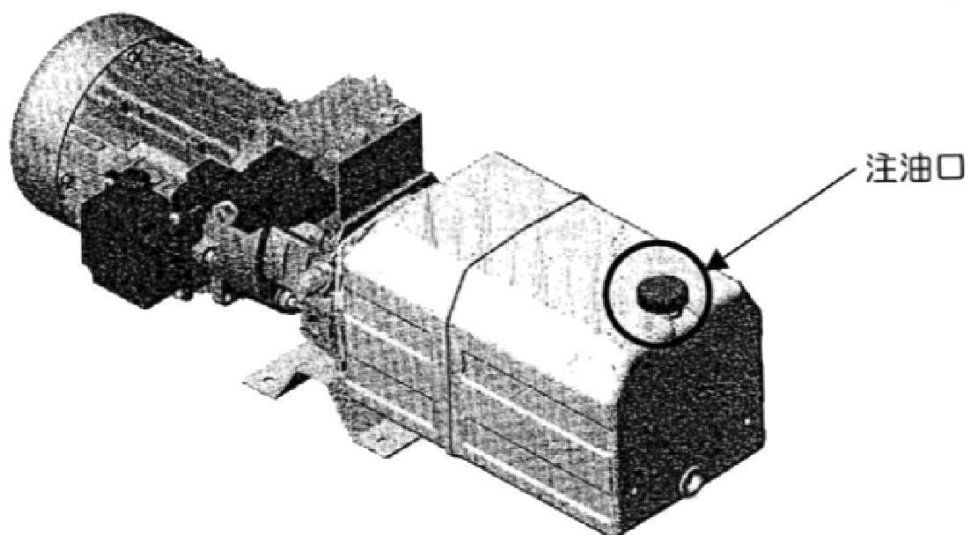
■油圧作動油の種類■

本機はギヤポンプを使用しており、その性能は使用作動油によって大きく影響しますので、必ず下記をご確認ください。

< 粘度区分 ISO VG32 耐摩耗油圧作動油 使用量：約 5.7L >

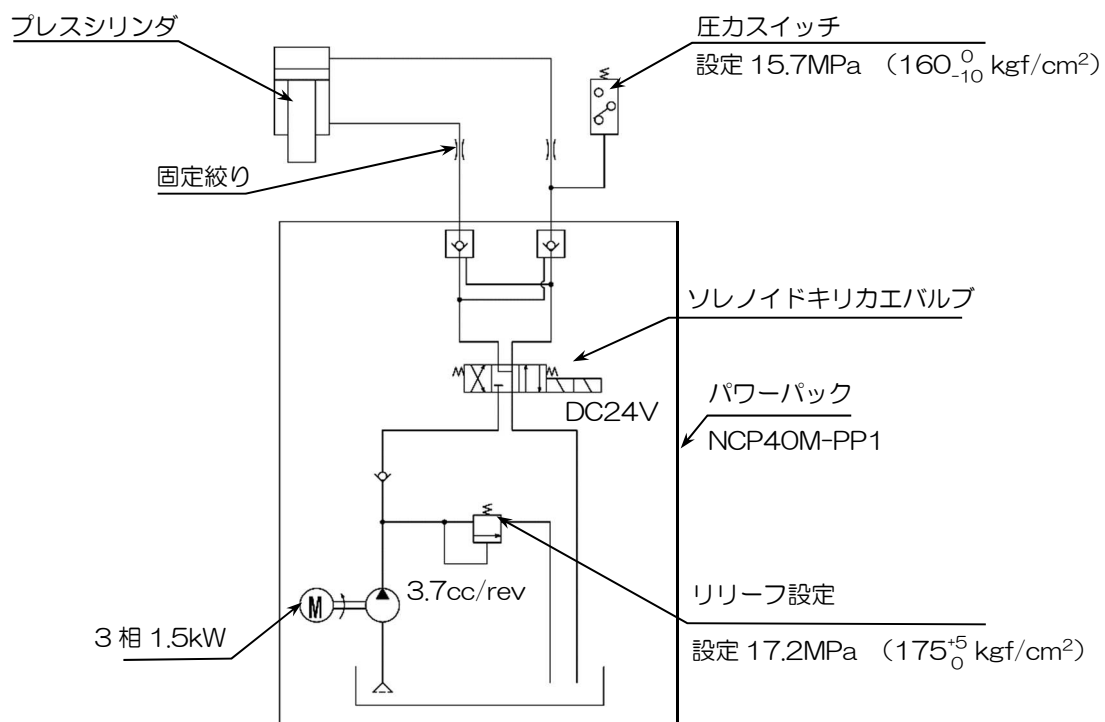
■作動油交換■

1. 作動油を交換する前に、原位置ランプが点灯していることを確認してください。
2. 作動油はタンクの MAX ラインまで入れてください。（約 5.7L）
（作動油の廃棄については P エラー! ブックマークが定義されていません。へ）



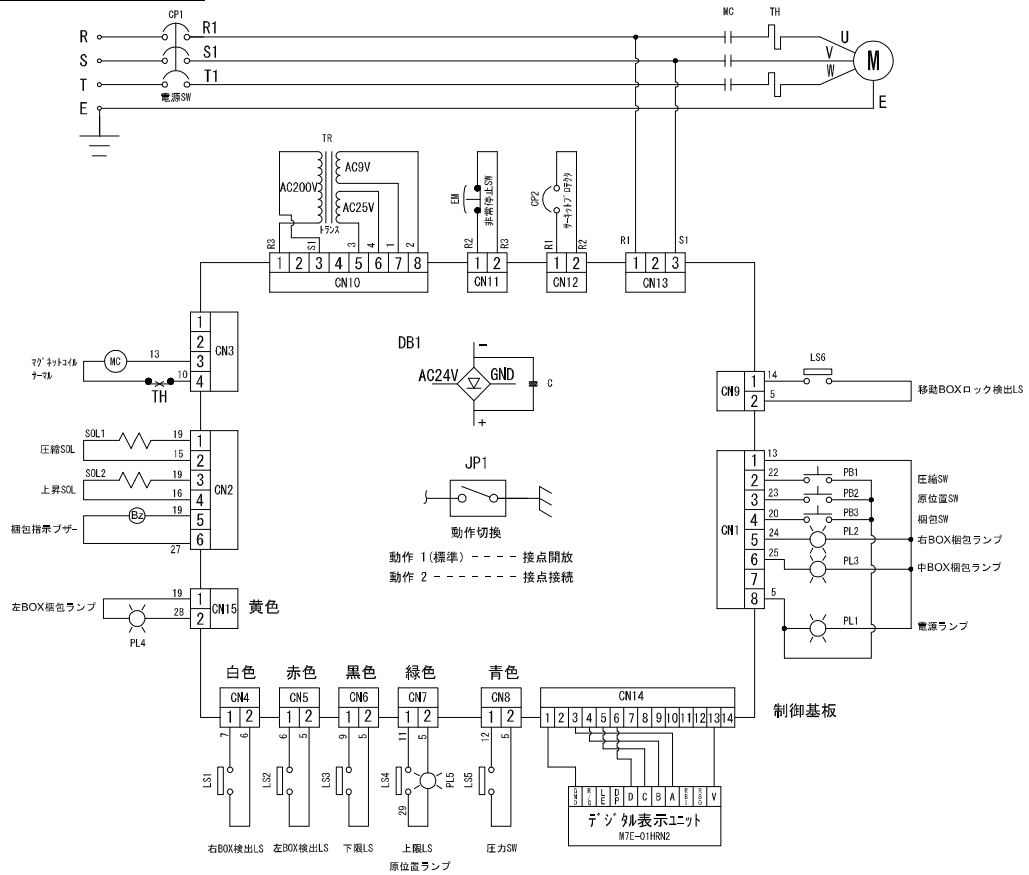
10 各回路図

<油圧回路図>

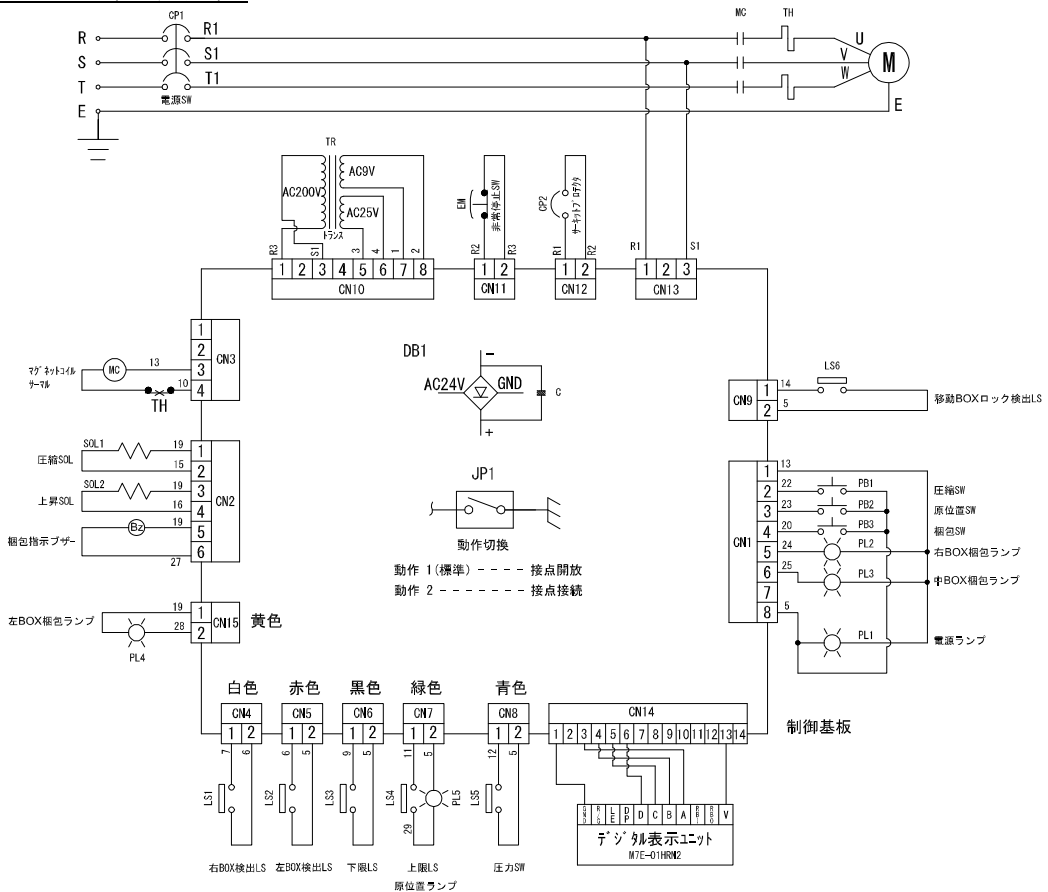


<電気回路図>

KCPR40M (3相用)



KCPR40M3 (3相用)



1 1 故障かなと思った時に

「故障かな」と思ったときは、まず以下の部分を確認してください。

確認部分	確認事項
電源ランプ	電源は来ていますか？
非常停止ボタン	非常停止ボタンは押されていませんか？
サーキットプロテクタ (プレス部右側面の操作パネルの 2種類のプロテクタ)	サーキットプロテクタが OFF になっていませんか？

上記以外の場合は前面操作パネルの状態表示ランプのエラー数字表示と症状を確認し、速やかにその内容をお買い上げいただいた販売会社にご連絡ください。エラー数字表示を確認したら、ただちに電源を切って、修理が完了するまで本機の使用を中止してください。

エラー表示	故障内容 (エラー数字表示後一旦電源を OFF にし、再度 ON して確認)	故障箇所
b (下降制御エラー)	圧縮、梱包ボタンを押すとプレス板が最下位にあるのにモーターが回転したまま停止しない。	圧カスイッチ (LS5) の断線、 または取り付け位置がずれている
C (上昇制御エラー)	原位置 SW を押すとプレス板が最上位にあるのにモーターが回転したまま停止しない。	上限リミットスイッチ (LS4) の断線
d (プレス板動作エラー)	圧縮、梱包ボタンを押すとモーターは回転しているしプレス板も動作している。 圧縮ボタンを押すとモーターは回転しているしプレス板も動作している。	上限リミットスイッチ (LS4) の溶着 下限リミットスイッチ (LS3) の溶着
BOX 位置 E 検知エラー	移動ハンドルをロックした状態で、ロックした BOX ではない BOX 位置が表示器に表示されている。	移動 BOX ロック検出リミットスイッチ (LS6) の溶着

※「圧縮」・「梱包」のボタン同時長押しでエラー解除

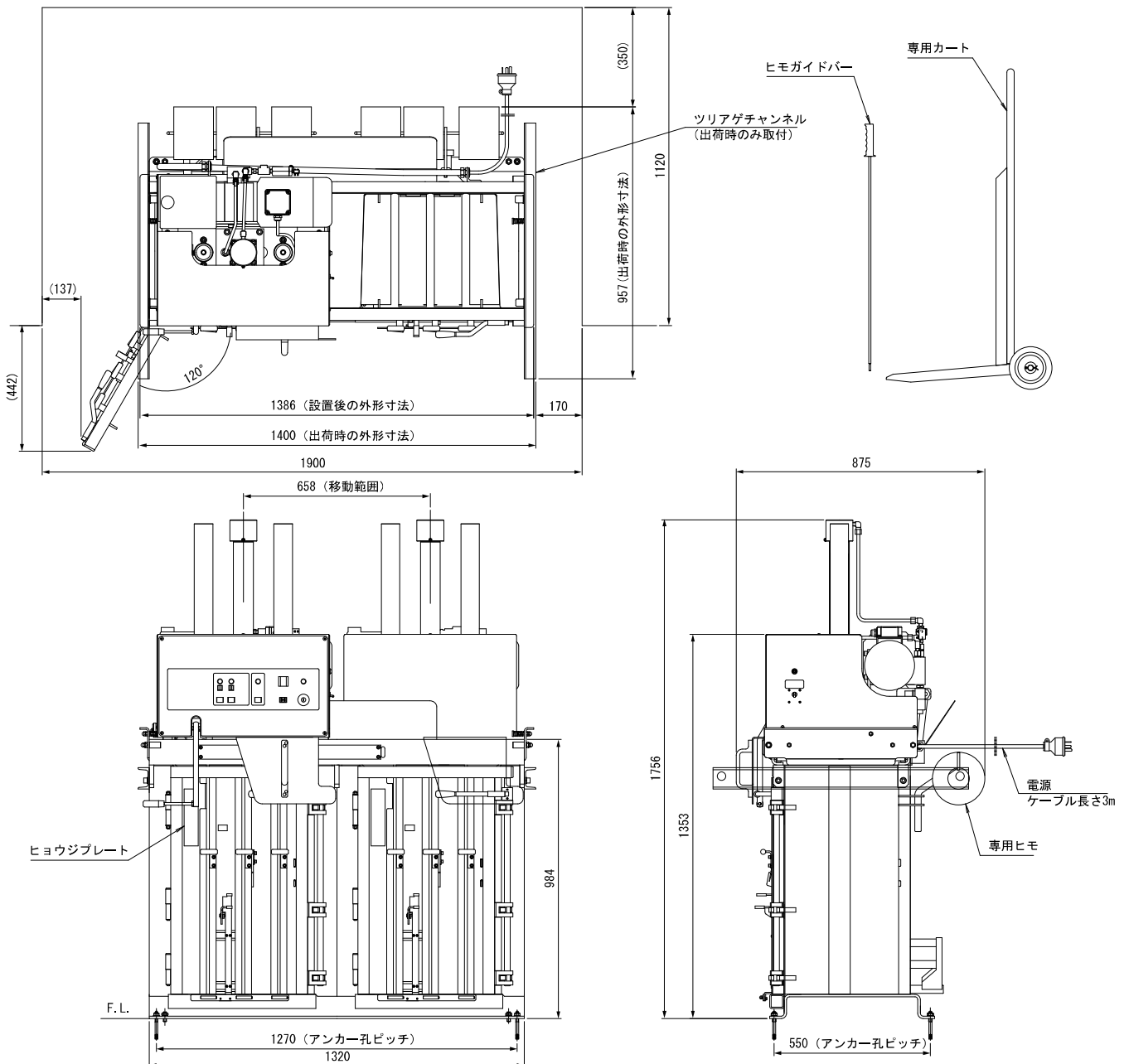
表示	内容 (再度動作させて確認)	故障箇所
通常表示	圧縮ボタンを押すとプレスボックスに処理物が無くても梱包 BOX 位置ランプが点灯する。梱包ボタンを押した時と同じ動作をする。	下限リミットスイッチ (LS3) の断線

12 仕様

	仕様諸元	
型式	KCPR40M	KCPR40M3
能力	39.2kN (4000kg)	
圧縮方式	電動油圧駆動	
梱包物寸法	500mm×400mm×250mm～500mm×400mm×400mm(目安値)	
処理能力	約 100kgs/h	
電源	3相 200V 20A(ブレーカ内蔵)	
モーター	1.5kW 4P(連続定格)	
圧縮サイクル	約 22 秒(60Hz)/約 27 秒(50Hz)	
油量	5.7L (ISO VG32 油圧作動油)	
プレスボックス	2BOX 高さ 984mm	3BOX 高さ 984mm
付属品	専用ヒモ 6 個 専用カート 1 台	専用ヒモ 9 個 専用カート 1 台
自重	約 500kgs	約 650kgs
外形寸法	幅×奥行×高さ (1386mm×875mm×1756mm)	幅×奥行×高さ (2046mm×875mm×1756mm)
騒音レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・通常運転した場合:約 80dB ・プレスボックスが空の状態では運転した場合:約 70dB 	
使用環境温度	0℃～40℃	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ・排出扉が閉じたままでのヒモ掛け作業が可能 ・ドアロックカバーにてプレス板可動時扉開き不可 ・プレス部正規位置以外ではプレス板可動不可 	

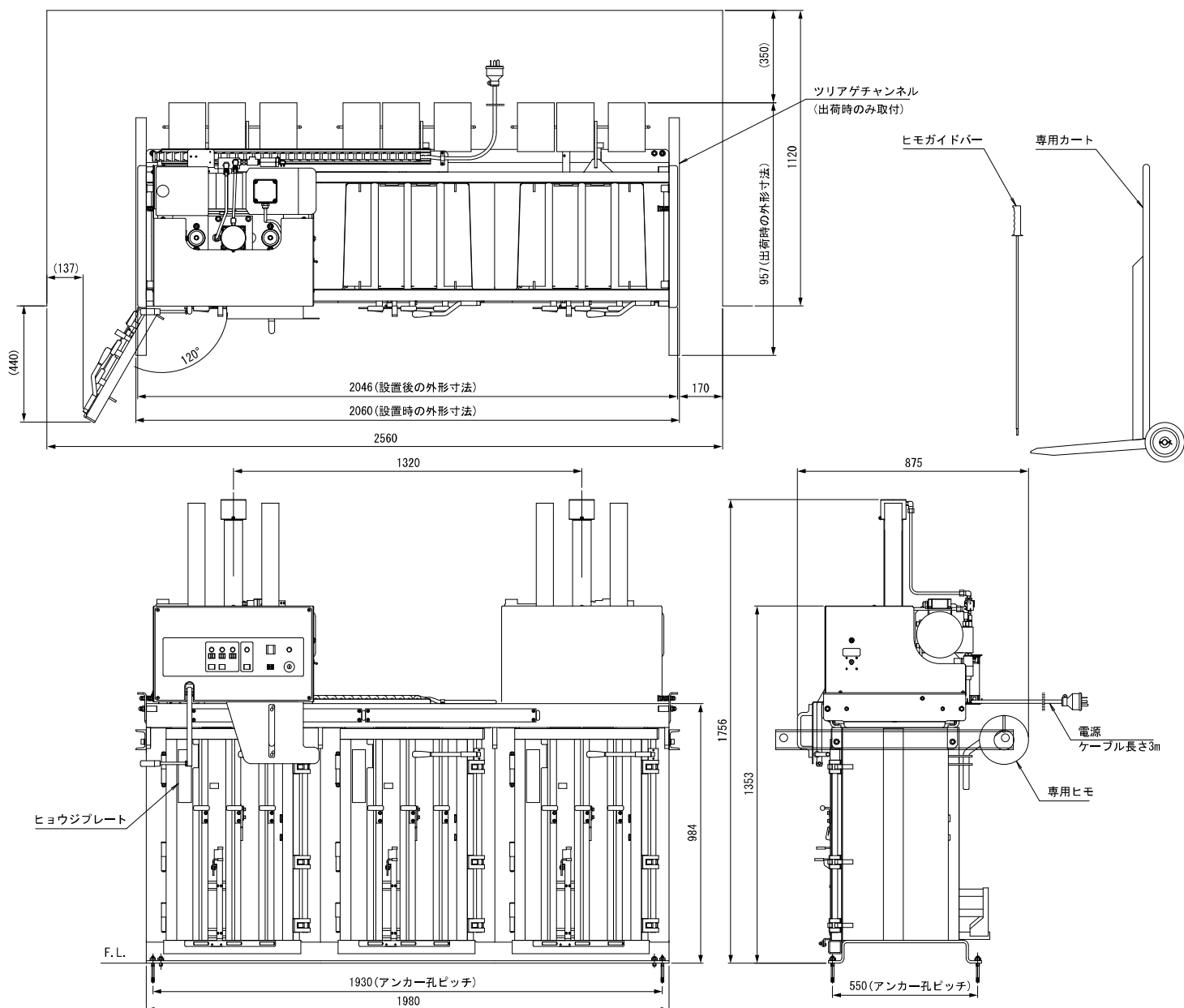
■KCPR40M

仕 様	
型 式	KCPR40M
能 力	39200N
圧縮方式	電動油圧駆動
梱包物寸法	500×400×250~500×400×400 (目安値)
処理能力	約100kg/h
電 源	3相200V 20A (ブレーカー内蔵)
モーター	1.5kW 4P (連続定格)
圧縮サイクル	約22秒 (60Hz) / 約27秒 (50Hz)
油 量	5.1L (ISO VG32 油圧作動油)
運転操作	押ボタンスイッチ式
使用場所	屋内
圧縮BOX	2BOX 高さ984mm
付 属 品	専用ヒモ6個、ヒモガイドバー1本、専用カート1台
自 重	約500kg
外径寸法 (巾×奥行×高さ)	1,386×875×1,756mm
騒音レベル	約80dB (機械のみ約70dB)
使用環境温度	0°C~40°C



■KCPR40M3

仕様	
型式	KCPR40M3
能力	39200N
圧縮方式	電動油圧駆動
梱包物寸法	500×400×250~500×400×400 (目安値)
処理能力	約100kg/h
電源	3相200V 20A (ブレーカー内蔵)
モーター	1.5kW 4P (連続定格)
圧縮サイクル	約22秒 (60Hz) / 約27秒 (50Hz)
油量	5.1 L (ISO VG32 油圧作動油)
運転操作	押ボタンスイッチ式
使用場所	屋内
圧縮BOX	3BOX 高さ984mm
付属品	専用ヒモ9個、ヒモガイドバー1本、専用カート1台
自重	約650kg
外径寸法 (巾×奥行×高さ)	2,046×875×1,756mm
騒音レベル	約80dB (機械のみ約70dB)
使用環境温度	0℃~40℃



1 3 廃棄について

本製品の廃棄については、鉄鋼材、非鉄材、樹脂材、作動油などに分別し、所属する自治体の廃棄処理方法に従い処理してください。特に作動油の処理方法は、法令で義務づけられています。法令に従い適正に処理を行ってください。

ご不明な点は販売会社にご相談の上、処理してください。

1 4 商品保証規定

<保証規定>

取扱説明書、本体注意シール等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内（納入後 1 年以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をいたします。ただし、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

商品保証期間 納入後 1 年以内

- (1) 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- (2) 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- (3) 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- (4) 火災、地震、風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
- (5) 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- (6) 日本国外で使用される場合。
- (7) 保証請求手続きが不備の場合。（例：型式および機体番号の連絡がない場合 etc.）
- (8) 設置に原因がある故障および損傷。
- (9) 弊社販売会社および弊社以外で行われた修理。
- (10) 酷使・過失または事故によって生じたと認められる故障。

**本製品は屋外設置および耐水仕様になっておりませんので、
錆・腐食・漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

<保証請求方法>

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の可否は勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

15 アフターサービスについて

調子が悪い時	まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時	商品保証規定に従い修理いたしますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間内の修理について	保証期間は納入後1年以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。
保証期間後の修理について	お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間	本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年間です。 (性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。お問い合わせいただく際には、次のことをご知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

上記事項を下表に記録しておくこと、お問い合わせの際に便利です。

型式		
機体番号	No.	
購入年月日	年 月 日	
購入店名	社名：	担当者：
	住所：	電話：
設置業者	社名：	担当者：
	住所：	電話：
故障日・状況	年 月 日 状況：	

MEMO



販売会社、または施工業者の方へのお願い
この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。



会社ホームページはこちら
<https://bishamon.co.jp/>



●ご注文・納期・価格のお問合せ先
本社営業部
✉ sales@bishamon.co.jp
☎ 0566-53-1126
📠 0566-53-1844

●技術的なお問合せ先
カスタマーサポート
✉ support@bishamon.co.jp
☎ 0566-53-2281
📠 0566-53-1617

本社 〒444-1394 愛知県高浜市本郷町4-3-21 TEL.0566-53-1126 FAX.0566-53-1844
東京 〒146-0083 東京都大田区千鳥2-2-12 TEL.03-3759-9722 FAX.03-3759-9723
大阪 〒537-0002 大阪府大阪市東成区深江南2-3-22 TEL.06-6747-7617 FAX.06-6747-7618

その他営業所 | ホームページをご確認ください。

OM-KCPR40M 2511⑥0505-S